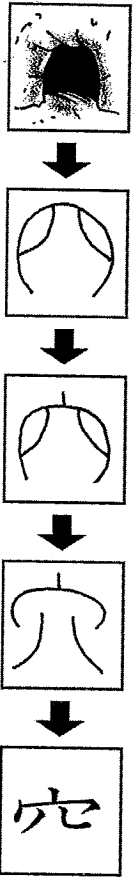


味に使われます。「心を安める」「安っぽい」「たやすい」の意味にも使われます。



「穴冠」……穴の意味

「穴居（けつきよ）（崖に穴を掘り開けた住みか）」や「穴蔵（あなぐら）」の形を表し、「穴」の意味に使われます。



字例 || 究・空・窓

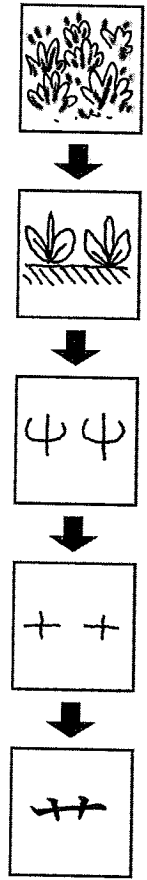
「究」は、「宀」と、「尗」が曲がりくねって伸びたつるの先が止められて、それから先に進めない「形を表し、「これ以上の数字は無い、一の位のきわまった数の「このつ」」を意味する「九」とを組み合わせた字です。「穴の中を徹底的に調べる」ことを表し、「物事をきわめる」という意味に使われます。



「草冠」……草の意味

昔は、「艸」は「艸」という字形で、「草が双葉を出した」形を表しました。当用漢字

では「艸」を用い、「草」の意味に使われます。



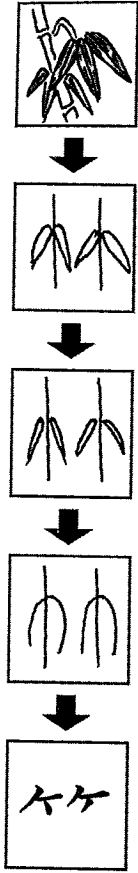
字例 || 葉・芽・菜

「芽」は、「艸」と、「牙」の形を表し「牙」の意味を示す「牙」とを組み合わせた字です。土から出たばかりのときの芽の形は、「牙」に似ていることから、「草の牙」を表したものです。今では、草にかぎらず、根や枝の先から出る「芽」の意味に使われます。



「竹冠」……竹の意味

「竹の葉（笹）」の形を表し、「竹」の意味に使われます。



字例 || 筆・答・箱